

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 秋山 茂則
 幹事 和田 正敏
 会報委員長 佐野 寛

No. 37

自分を越えた眼を

LOOK BEYOND YOURSELF

1991~92年度 RI会長 ラジェンドラ・K・サブー

第475回例会 平成4年4月7日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告

会員 66(63)名 出席 43名

出席率 68.25%

前回 3月31日(修正出席率)96.83%

- ◇ ビジター紹介 3名

- ◇ お誕生日祝福

新美君(41)、鷺野夫人(47)、池田君(49)

- ◇ ニコボックス

名古屋港RC 会長エレクト 三木 庸行君
 (地区大会実行委員会)副幹事 中村 吉夫君
 地区大会のご案内とお願いに参りました。

秋山 茂則君 今日の笑顔

成田 良治君、上野 保君、和田 正敏君

奨学生サッド・デモルダーさんのお父様がはるばるアメリカから来名されました。歓迎します。

田部井良和君 新入会員の為。

渡辺 辰夫君 2番目の孫が生まれました。

私に似て中々の美人でしたので、今から心配です。

小坂井盛雄君 本日卓話をさせて頂く機会を得ました。皆様方のお耳を汚しますがよろしく。

黒野 貞夫君 中日新聞47朝刊。“凛と勝つ”中日を応援して下さい。

池田 隆君 デモルダー君のお父様、ようこそおいで下さいました。誕生日祝い。

西村 禎二君 大口先生たびたびお世話になります。本日早退します。申し訳ありません。

久保田 皓君、松居 敬二君 早退させて頂きます。

新美 敢君 誕生日祝い。

鷺野 義明君 夫人誕生日祝い。

尾関 武弘君、西川 豊長君 結婚記念日祝い。

- ◇ 和田幹事報告

1. 明日8日(水)次年度理事役員・委員長会

議午後6時より桃源亭にて開催しますので、お忘れなくご出席下さい。

2. 次回例会終了後、10周年記念実行委員会を開催致しますので、実行委員の方はお残り下さい。

- ◇ 名古屋港RC 地区大会参加のお願い

次年度会長 三木 庸行君

次年度幹事 中村 吉夫君

本日は大変貴重な例会の時間を頂きまして地区大会のご案内及び登録のお願いに参りました。地区大会は6月6日・7日両日で、6日は本会議につつきR1会長代理ご夫妻をお迎えして歓迎晩餐会を名古屋観光ホテルで行います。7日は名古屋国際会議場で、本会議につつきソニー(株)の盛田会長に講演をして頂きます。その後、昼食を兼ねた大懇親会を企画しています。フロアの1階全部を使い、愛知県の歴史・文化をふまえた物産展を設営します。又、ご夫人の方々にはすばらしい日本庭園でお茶会を楽しんで頂く予定です。このように、いずれをとりましてもすばらしい会場であり、私共は、ご出席頂いた方に感激と感動を得て帰って頂けるよう努力しておりますが、皆様のご出席がなければ大会は成功しません。私達ホストクラブの立場をおくみとり頂き一人でも多くご登録して下さいようご協力お願いします。

- ◇ 新入会員紹介



氏名 田部井 良和 君
 生年月日 昭和22年7月11日
 事業所 昭興金属㈱
 千種区千種2-15-28
 TEL 733-4611
 地位 代表取締役
 自宅 瑞穂区松月町5-28
 推薦者 水野民也
 職業分類 配線器具及び商品
 委員会 親睦活動

◇ポール・ハリス・フェローメダル授与

宮尾 紘司君 水野 賀統君
 大谷 和雄君 和田 正敏君

◇財団奨学生 サッド・モデルダー君挨拶



1年間もあつという間にすぎ今月アメリカへ帰ることになりました。私は商学関係の専門用語を覚えたいと思い、名城大学商学部に入りました。そして、皆様のお陰でその目的も達成できたと思います。どうもありがとうございました。

私が日本に来てもう2年になりますが、日本語の歌はロータリーソングしか歌えないということが残念に思います。

皆様方の中でお世話になった方がたくさんいらっしゃいますが、ここで心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

◇秋山会長挨拶

イエローキャブ

日本の貿易収支の不均衡は10年前とかわらず特に米、自動車・半導体が国際政治のテーマとしてくすぶり続けています。このことの米国の苛立ちは激しく、対日警戒論そして反日感情論までが吹き出してきました。こうした背景の中で国際社会における日本の孤立化への懸念が生れ、また外から日本異質論が伝えられております。その反省の現れか、最近日本人論というか、日本人を主題とした出版物や論評記事をよく目にします。「外国人から見た日本人」とか、その内容は、見られている日本人の姿がそこにあり、その行動や対応が外国人から顰蹙を買っている。だから日本人はこうすべきだ。頭を切替えて相手に合

わせた国際協調体制が必要だ。そうしないと国際社会から取残されるというような論旨です。イエローキャブという本が出た。内容は日本女性のアメリカでの生きざまを直接本人にあつて取材執筆したものです。イエローキャブというのはニューヨークのタクシーのことですが、これが日本女性のニックネームになっているようで「すぐ乗せる」「誰でも乗せる」という意味だそうです。そこに登場する日本人専門ブレイボーイは、筆者の「なぜ日本女性がいいのか」の質問に、「違うよ。体だって、心だってアメリカ女性の方がいいに決ってるだろ。それがなんで日本女性ばかりと週6日もつき合ってるかっていうと、金持って、ピックアップするにイージーだからさ、ただそれだけの理由さ」そして一つ「アイラブユー」二つ「早く俺の子供が欲しい」三つ「結婚したいよ」四つ「日本に行って君の家族に逢いたい」これだけいうと皆、熱くなるんだ。とのこと。これも国際化現象なんですか。

◇講演

シベリア抑留記

“お塩が砂糖の様においしい”

会員 小坂井 盛雄 君



終戦後、旧満州国よりソ連軍の捕虜となつて、シベリヤへ抑留されたと云う軍人60万の数を日本側が勘定した人数とソ連が受け入れたという人数が大きく異なるのだ。勿論ソ連側が受け入れたと云う人数の方が10万人近く少ない。そんな馬鹿など云う事が事実なのである。何故かそれは吾々捕虜は貨車に荷物の様に積み込まれて、ソ連領へ連行された。ソ連側は捕虜を一人一人カウントしたのでは無かった。何貨車分の捕虜を受け取ったと云う貨車単位でカウントして受け入れたのである。

そして、厳寒のシベリヤでまず住む家から作らせ、そして一日の休みも与えず伐採に追いやって過酷な死の労働を強いたのである。

しかも満州からは人だけではなく我々日本軍貯蔵の膨大な食糧・衣料等も無断で持去り乍ら、吾々には僅かな食糧しか支給しなかったのである。これが日ソ不可侵条約があり乍ら終戦の僅か一週間前に侵攻して来た、ソ連の仕打ちである。しかし厳寒のシベリヤで一冬を越す間に沢山の戦友が命を異郷の丘に散らして行ったのである。異国の丘の歌がそれを物語っている。そして翌春死ぬ奴が死んだのを見極めたかの様にある日吾々は一人づつソ連将校の部屋に呼び出されそこで色々と質

問された上、ようやく国際捕虜名簿に記載され、そこで初めて晴れて日本兵捕虜としての戸籍が出来上がったのであった。

月とくさり鎌と赤十字のマークのついたクリーム色の厚紙で出来た国際捕虜名簿のカードを前にして、若いソ連将校の流れる様な日本語での質問に私はまずびっくりしてしまった。それは丁度おもちゃの兵隊さんを思わせる様な20歳位の若いソ連将校。たしか少尉の位であったと思うがいつもニコニコして、ラーゲル(収容所)の中をいつからか見廻りに来る様になった時、吾々は何の警戒心も起こす事はなく、ニコニコと見廻るこの若い将校が日本語がペラペラである事など夢想にもしなかった。

吾々はその少尉を完全に無視し、小馬鹿にした様な態度でいた訳である。その若い少尉殿が国際捕虜名簿を作る時の調査官であり、日本語が非常に上手である事を知って皆が愕然としたのはニコニコとし乍らラーゲルの宿舎内を見廻しながら元憲兵・特務警官であった者を全部調べ上げていた事であった。これで日本側が満州からシベリヤに送ったと云う人数とソ連が受け入れたと云う人員数が大きく違う理由が理解出来たと思う「あなたの姓はコザカイですか？名前は何といいますか」と云う質問から始まり、非常に詳しく色々な事を知っているのにびっくりした。ここで共通に問題になりソ連人にはどうしても納得して貰えない一つの事があるのが判った。それはソ連では学歴と軍隊での階級と社会での地位全てがイコールであると云う事である。大学卒は軍隊では将校であり、社会では指導的役職につく。高校卒は軍隊では下士官であり、社会ではミドルであり、中卒は軍隊では兵隊であり社会では労働者である。これはその人が如何に努力しても成績が優秀であっても下士官になる事はなく、下士官が将校になる事は絶対にないのである。ソ連ではそれが当たり前なのだ。だから日本軍の様に小学校卒業で兵隊から下士官になり準尉なるなどと云う事はソ連人には全く理解出来ない事なのである。だから、捕虜名簿作成中にこの様な日本軍将校が小学校卒である事を知るとおまえはニセ将校であるヒートリー(ズルイ人の事を云う)だと云ってしつこくなじるのであった。

又その反対で大学出の一等兵や二等兵 日本軍にザラにいるのだが、彼等はそれが理解出来ない。お前は大学を出ていながら何故兵隊に化けているのだ？お前が兵隊である事が本当なら、お前は何か悪い事をして降格されたのであろう。どう云う悪い事をしたのだと、これまたしつこくしつこく彼の玩具の将校は食い下がるのである。この違いは彼等には永

久に理解出来ない事なのであろう。

吾々は一冬越して死ぬ奴が死に、生き残った者は又纏められて1500名の新しいラーゲルに収容されたのであった。その後、吾々は山から下りてトリムスカヤの駅で材木の貨車積み作業に変わり、少し山よりは楽になってホットしたのであったが、吾々は食糧の乏しさと塩分の不足にむしばれ、悩まされて居たのであった。人間は砂糖が無くても生きられるが塩が無くは生きられない。塩が欲しい、みんなが塩にカツれて居った。

駅で材木をトラックから降ろしたりプラットフォームに整理して並べたり、入ってくるワゴン(列車)に材木を積み込んだりする仕事の合間に駅を貨車やら客車やらが通過する。その貨車の中に岩塩を積んだのが通ると云う情報に吾々は驚喜した。岩塩列車が通る。「よし」そいつを叩き落として岩塩を取ろうと長い棒やら竹やら色々探して用意をした。警備のソ連兵の目を盗んだ作戦である。いよいよ岩塩列車が来た。

長い車に岩塩がむさうさに積まれて何台も連ながって通るのだ。駅なので少しスピードも落とした列車に向かって棒や竹竿を振り廻して岩塩を叩き落とすのだ。駅でスピードを落としてはいるものの走っている列車に疲労、衰弱した体での必死の挑戦だ。バラバラと岩塩が落ちる。列車はゴウゴウと云う音と共に去った。それとばかりに今度は線路上を這い廻り乍ら叩き落とした岩塩を探すのである。しかし長い車に野積みされていた岩塩はみんな真黒にすすけて居て石コロと仲々見分けが付かない。これかなと拾った塊をしゃぶって見る。石だ。放り出して又拾ってなめる。その繰り返しの内、あった。岩塩だ、甘い！口の周りを真黒にし乍ら岩塩にシャブリつく。あっちでもこっちでも岩塩を見つけた戦友の歓喜の音がする。あったあった。岩塩だ。塩がおいしい。塩が甘い。体が塩を求めている。おいしいおいしい。涙がボタボタと落ちる。シャブリ付いた岩塩が白くなる氷砂糖の様になりそれがだんだん小さくなる。やっとシャブルのを止め、他の岩塩を探しシャブって塩だと確認してはポケットに入れる。待っている戦友に分ける為だ、必死に這い廻っていると口助の怒号が飛んで来た。

「タワーイ ヤンボスキー ネリジャー ラポータ」警備のソ連兵に見付かってしまったのだ。見付かるのが当然、大声を出して岩塩を見つけて喜んでいたのである。

吾々は又木材の積替の仕事(ラポーター)に戻った。長いプラットフォームを越してプラットフォームの無い所に迄材木は積まれている。そのハシからハシ迄マンドリン(自動小銃)

を肩に警備のソ連兵が巡回して居る。そのスキをついての危険な岩塩落とし全員が掛けるわけにはいかないので警備兵が一番遠のいたところで作業しているものがブラットホームを降りて、列車の反対側から岩塩を叩き落とすのだ。だから列車が近づく迄は線路際に伏せて待ち受けるのだ。命掛けの荒仕事だが、その岩塩がみんなの命を救ったのであった。塩が甘い。こんな体験はもう二度としたくない。塩は辛いのが当たり前の筈だ。俺の味覚は正常に戻るだろうか？そんな心配を真剣にした、思えば哀しい。くやしい思いである。

》 雑誌の窓 《

「自分に問い続けてきたこと」'92年3月号大切なものの順位
('91 ~ '92 R I 会長ラジェンドラKサブ)
R I 会長がガバナーになったとき息子が12才でした。息子は子供心に「パパに会う時は秘書を通してしか会えない」と思ったみたいだ、それを知った私はハッと胸をつかれる想いがしました。それ以来いつも私は「大切なことを後回しにしていないだろうか」と自分自身

に問い続けてきたつもりです。

私もRCへ入会させて戴いて3年になりますが、私自身一線の営業マンですので、例会出席する時間調整が大変でしたし、苦痛でもありました。

私自身の大切なものの順位として、やはり家族が最優先順位です。

RC例会出席するのも、家族、社員にもだんだんと理解される様になり、最近では90%以上の出席が可能になりました。それだけRC出席が以前より優先順位が向上しましたが、私にとっては、会社、家族、の次にRC例会出席の順位となるでしょう。

本日はつたない話で申し訳ありませんでしたがご静聴ありがとうございました。

(3月31日分) 担当 上野 保君

◇次回例会(4月14日)

講演 “たかが言葉されど言葉”

会員 今枝 秀夫君

◇次々回例会(4月21日)

講演 “今年のドラゴンズ観”

タレント 青空ほしお氏 (紹介 上野君)

1992年1~3月 例会出席率(個人別)

(12meetings)

会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	出席率(%)	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	欠席	合計	出席率(%)	
足立 一成	11	0	1	11	92	水野 民也	11	3	0	14	92	117
秋山 茂則	12	2	0	14	100	水野 賀統	7	5	0	12	58	100
安藤 銀之助	9	2	1	11	75	永井 正義	9	4	0	13	75	108
青山 敏郎	9	3	0	12	75	中山 信夫	11	1	0	12	92	100
浅井 誠寿	7	6	0	13	58	成田 良治	12	0	0	12	100	100
江崎 民夫	11	1	0	12	92	新美 敦	7	4	1	11	58	92
深見 淳三	6	8	0	14	50	西川 豊長	9	3	0	12	75	100
林 淳三	9	3	0	12	75	西村 禎二	10	2	0	12	83	100
堀江 宏輝	7	5	0	12	58	西野 英樹	8	5	0	13	67	108
市原 数一	4	0	8	4	33	西尾 正巳	6	6	0	12	50	100
池田 隆	9	1	3	10	75	奥村 登喜朗	8	5	0	13	67	108
今枝 秀夫	12	0	0	12	100	大口 弘和	11	1	0	12	92	100
今井 浩壹	10	2	0	12	83	太田 茂	11	1	0	12	92	100
石田 耕嗣	6	7	0	13	50	太谷 和雄	11	1	0	12	92	100
石谷 正則	7	2	3	9	58	大矢 佳正				病 欠 席		
釜谷 健一	8	4	0	12	67	尾関 武弘	5	7	0	12	42	100
加藤 大豊	7	5	0	12	58	尾関 龍男	7	1	4	8	58	67
加藤 正義				病 欠 席		佐久間 良治	9	3	0	12	75	100
加藤 敏昌				病 欠 席		佐野 寛	12	0	0	12	100	100
菊池 昭元	11	1	0	12	92	笹野 義春	11	1	0	12	92	100
木全 昭二	9	3	0	12	75	菅原 彦	6	6	0	12	50	100
北野 寿三郎	9	1	2	10	75	杉山 貞男	5	8	0	13	42	108
小林 明	8	4	0	12	67	鈴木 正男	6	7	0	13	50	108
小杉 彰	9	3	0	12	75	鈴木 理之	11	1	0	12	92	100
小山 雅弘	11	4	0	15	92	125 竹内 真三	11	1	0	12	92	100
小坂 盛雄	9	3	0	12	75	100 谷口 暢宏	6	6	0	12	50	100
久保 野皓	8	3	1	11	67	92 上野 保	11	1	0	12	92	100
黒野 貞夫	8	4	0	12	67	100 魚津 常義	7	5	0	12	58	100
黒須 一夫	10	3	0	13	83	108 和田 正敏	12	1	0	13	100	108
松居 敬二	5	7	0	12	42	100 鷺野 義明	11	1	0	12	92	100
松島 孝彰	8	4	0	12	67	100 渡辺 辰夫	10	2	0	12	83	100
三輪 康	4	8	0	12	33	100 山本 真輔	9	3	0	12	75	100
宮尾 紘司	12	1	0	13	100	108 吉田 節美	12	0	0	12	100	100